

授業科目(ナンバリング)	スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導(DB425)			担当教員	梅野 潤子		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	4年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>学校現場等での実習に向けて、学校現場及び学校組織への理解を深めるとともに、スクールソーシャルワーカーに求められる価値・知識・技術を習得することを目指す。また、実習における学習経験をソーシャルワークの理論と結びつけ、体系立てていく能力を養うことを目的とする。さらに、ディプロマポリシーに掲げられる社会の課題に対する思考力・判断力・表現力を活用し、主体的に問題解決を行う力を養成するために、授業の展開においては、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションを受講生が行う。その中で、子どもや家族・他職種等が理解することのできる表現方法を学びながら、スクールソーシャルワークの価値・知識・技術を受講生が自分の言葉で説明することも重視する。</p> <p>※この授業は、スクール(学校)ソーシャル教育課程におけるスクール(学校)ソーシャルワーク専門科目群の1つである【スクール(学校)教育課程の学生のみ受講可能】。</p>							①⑦⑩⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	実習における学習経験をソーシャルワークの理論と結びつけ、体系立てて説明することができる。				実習報告書	15%	
情報収集、分析力	実習における学習経験の内容について、スクールソーシャルワークの価値・知識・技術に基づき説明することができる。				体験レポート	15%	
コミュニケーション力	個別指導並びに集団指導を通して学校におけるソーシャルワークにかかる知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術を習得する。				体験レポート	15%	
協働・課題解決力	実習で取り組む課題の内容を説明することができる。				第1回レポート 第2回レポート 実習計画書	10% 10% 20%	
多様性理解力	子どもたちの多様な支援ニーズについて説明することができる。				実習報告書	15%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>実習計画書20%、レポート2回分20%、体験レポート30%、実習報告書30%で評価する。レポートの課題は授業内で提示され、第2・6回の授業開始時までに提出しなければならない。体験レポートは、実習での学習経験を授業内で報告、ディスカッションした内容をまとめたものとする。すべての提出物は、ポートフォリオにて提出し、次の授業内およびポートフォリオにてフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>授業ではまず、実習計画書の作成を行う。そのため、実習先の概要や地域の社会資源について調べたり、実習先での体験実習をしたりし、実習計画書をより具体的な内容にしていく。実習の開始後は、授業内での実習体験の報告やディスカッションを通じて、スクールソーシャルワークの価値・知識・技術について具体的に理解し、理論に裏付けされた実践力を身に付ける。授業でのディスカッション内容を体験レポートとしてまとめることで、実習での学習経験を言語化する。提出された体験レポートを構成し直すことによって、最終的に、実習報告書を完成させていく。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：山野則子・野田正人・半羽利美佳編(2016)『よくわかるスクールソーシャルワーク第2版』ミネルヴァ書房 参考書：日本学校ソーシャルワーク学会編集(2008)『スクールソーシャルワーカー養成テキスト』中央法規 指定図書：山野則子・野田正人・半羽利美佳編(2016)『よくわかるスクールソーシャルワーク第2版』ミネルヴァ書房</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で、次回までの予習・復習を提示する。指定された内容を実施してくること。 ・出席は最低限のルールとする。やむを得ず遅刻・欠席する場合は、事前にその旨を担当教員宛にメールで連絡をすること。なお、遅刻・欠席分の授業内容については、自ら担当教員に問合せ、補習を行うこと。 ・授業内での居眠りや私語、携帯電話の無断使用などは厳禁とする。 							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション スクールソーシャル ワーク実習の意義	本授業の方針、今後のスケジュールを 確認する。 スクールソーシャルワーク実習の意義 を理解する。	予習：シラバスを読んでくる。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて 提出する。
2	実習機関・社会資源の 理解	実習機関と社会資源について理解を深 める。 【第1回レポート提出】	予習：知識整理ノート①-③を作成し、ポートフ ォリオにて提出する。 復習：知識整理ノート①-③を修正し、ポートフ ォリオにて提出する。
3	個人プロフィールの 作成	個人プロフィールを完成させる。個人 情報に関する誓約書を作成する。	予習：個人プロフィールを作成し、ポートフォリ オにて提出する。 復習：個人プロフィールを修正し、ポートフォリ オにて提出する。
4	実習目標・実習計画の 作成①	実習生、実習担当専任教員、実習先の実 習指導者との三者協議を踏まえた実習 計画書を作成する。	予習：実習目標・実習計画を作成し、ポートフォ リオにて提出する。 復習：実習目標・実習計画を修正し、ポートフォ リオにて提出する。
5	体験実習	佐世保市青少年教育センターにおいて 体験実習を行い、実習に対するイメージ を具体化する。	予習：体験実習での目的をまとめ、ポートフォリ オにて提出する。 復習：知識整理ノート④を作成し、ポートフォリ オにて提出する。
6	実習目標・実習計画の 作成②	実習生、実習担当専任教員、実習先の実 習指導者との三者協議を踏まえた実習 計画書を作成する。 【第2回レポート提出】	予習：実習目標・実習計画を作成し、ポートフォ リオにて提出する。 復習：実習目標・実習計画を修正し、ポートフォ リオにて提出する。
7	プライバシー保護と 守秘義務、スーパーヴ ィジョンの理解	プライバシー保護と守秘義務、スーパ ーヴィジョンについて理解する。	予習：プライバシー保護と守秘義務、スーパ ーヴィジョンについて、これまで学んだことを復習 する。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて 提出する。
8	巡回指導	現場学習巡回指導	予習：巡回指導の際に、相談したい内容について 整理する。 復習：達成できたことと課題として残ったこと を振り返り確認する。
9	実習の振り返り①	実習での体験、学びを発表し、グルー プディスカッションを行う。	予習：実習での体験を報告する準備をする。 復習：体験レポートを、ポートフォリオにて提出 する。
10	実習の振り返り②	実習での体験、学びを発表し、グルー プディスカッションを行う。	予習：実習での体験を報告する準備をする。 復習：体験レポートをポートフォリオにて提出 する。
11	実習の振り返り③	実習での体験、学びを発表し、グルー プディスカッションを行う。	予習：実習での体験を報告する準備をする。 復習：体験レポートをポートフォリオにて提出 する。
12	実習の振り返り④	実習での体験、学びを発表し、グルー プディスカッションを行う	予習：実習での体験を報告する準備をする。 復習：体験レポートをポートフォリオにて提出 する。
13	実習報告会の準備	実習報告会の準備をする。	予習：実習報告書を作成し、ポートフォリオにて 提出する。 復習：実習報告書を加筆修正し、提出する。
14	実習報告会	実習報告会を実施する。	予習：実習報告書を作成し、ポートフォリオにて 提出する。 復習：実習報告書を加筆修正し、ポートフォリ オにて提出する。
15	全体総括	実習を振り返り、スクールソーシャル ワーカーに必要な知識・技術・価値観に ついて確認する。	予習：達成できたことと課題として残ったこと をまとめ、ポートフォリオにて提出する。 復習：授業の内容をまとめ、ポートフォリオにて 提出する。